

対ソロモン諸島 事業展開計画

2022年 4月 現在

基本方針 (大目標)	社会・経済基盤の強化を通じた自立的かつ持続的成長の達成と国民の生活水準の向上
---------------	--

重点分野1 (中目標)	脆弱性の克服																
	【現状と課題】					【開発課題への対応方針】											
開発課題1-1 (小目標)	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考				
					2021 年度 以前	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度							
社会・経済インフラの整備・維持	経済インフラ整備・維持管理プログラム	基幹産業・社会インフラの整備及び維持管理のための人材育成を支援する。	ホニアラ空港整備計画	無償	[Bar chart: 2021-2023]						47.29	8.9					
			ホニアラ交通マスタープラン支援プロジェクト	開発計画	[Bar chart: 2021-2022]							9.11					
			第二次クム幹線道路改善計画	無償	[Bar chart: 2022-2024]						31.59	8.9					
			インターロッキングブロック舗装	個別専門家	[Bar chart: 2022-2023]							8.9					
			経済社会インフラ整備・維持管理、及び再生エネルギー分野の研修	課題別研修他	[Bar chart: 2022-2024]							7					
			ソロモン水道公社無収水対策プロジェクト フォローアップ協力	フォローアップその他	[Bar chart: 2022-2023]							6					
			ホニアラ市及びアウキ市水供給システム改善計画 フォローアップ協力	その他	[Bar chart: 2022-2024]							6.9					
			水分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償	[Bar chart: 2022-2023]						0.07	6					
開発課題1-2 (小目標)	経済活動の拡充	産業振興プログラム	地方産業・農業振興等の総合的開発を支援する。	コミュニティ主体の沿岸資源管理・利用による生計向上のためのアドバイザー	個別専門家	[Bar chart: 2021-2022]							12.14				
				「太平洋島嶼国のSDG14「海の豊かさを守ろう」プロジェクト」	技プロ	[Bar chart: 2022-2024]						2.16	14	広域案件複数国対象案件のため累計額を記載			
				経済社会開発計画	無償	[Bar chart: 2022-2023]						2.00	8.9,14	漁業・海洋資源分野			
				水産・林産業分野、職業訓練分野のJICA海外協力隊派遣	JOCV	[Bar chart: 2022-2024]							12.15				
				ソロモン国における持続的森林資源管理強化プロジェクト	技プロ	[Bar chart: 2022-2023]						4.65	8.12,15				
				食料安全保障のための農学ネットワーク(Agri-Net)	国別研修	[Bar chart: 2022-2024]							2.12,15				
				経済活動の拡充・産業振興関連の研修	課題別研修他	[Bar chart: 2022-2023]							12.15				
				ソロモン諸島国における作物病虫害対策の向上	草の根技術協	[Bar chart: 2022-2023]							8.15				
				国際漁業振興協力事業	農林水産省技協	[Bar chart: 2022-2023]							14	専門家派遣、機材供与等			
				新型コロナウィルス感染症危機対応緊急支援円借款	有償	[Bar chart: 2021-2022]						25.00	3.8				
開発課題1-3 (小目標)	保健医療サービスの向上	島嶼型保健医療プログラム	保健医療・衛生施設の改善、感染症・非感染性疾患に係る保健医療従事者の育成、公衆衛生啓蒙活動、地域医療サービスの質の向上を目的に支援を行う。	キルフィ病院整備計画協定準備調査	協定	[Bar chart: 2021-2022]							3.9				
				保健医療・医療器材分野の研修	課題別研修他	[Bar chart: 2022-2023]							3				
				保健医療分野のJICA海外協力隊派遣	JOCV	[Bar chart: 2022-2024]							3				
				経済社会開発計画	無償	[Bar chart: 2022-2023]						3.00	3	保健・医療分野			
				経済社会開発計画	無償	[Bar chart: 2022-2023]						2.00	3	保健・医療分野			
				強靱な保健システム構築のための連携強化プロジェクト（広域）	技プロ	[Bar chart: 2022-2024]						9.42	3	複数国対象案件のため累計額を記載			
				【現状と課題】	ソロモンにおける保健分野の開発指標は改善傾向にあるが慢性的な財政不足により、引き続き地方州における保健医療サービスの改善や住民への公衆衛生の取組が課題である。					【開発課題への対応方針】					国家保健政策を踏まえ、地域医療サービスの向上や住民への非感染症、感染症、乳幼児・妊産婦医療への取り組みを支援する。さらに、保健医療施設整備への支援の検討を進める。		
				開発課題1-4 (小目標)	教育機能の強化	教育改善支援プログラム	基礎教育分野に重点を置き、学校現場や社会における教育の質の向上と教育施設改善に対する支援を行う。	教育関連研修	課題別研修他	[Bar chart: 2022-2024]							4
教育分野のJICA海外協力隊派遣	JOCV	[Bar chart: 2022-2024]							4								
教育分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償	[Bar chart: 2022-2023]						0.35	4								
【現状と課題】	ソロモン政府は基礎教育の拡充を重要課題の一つとしているが、児童就学率は改善傾向にあるものの、中退率は依然高い状態が続いている。慢性的な財政不足から教育インフラ整備や教育従事者の能力開発が遅れており、提供する教育サービスの質の向上が課題である。							【開発課題への対応方針】					国家教育実施計画に沿って、基礎教育分野における教育の質の向上を中心とした支援を行う。また、教育アクセス改善に向けて教育施設整備の検討を進める。				

開発課題1-5 海上保安分野における能力向上	【現状と課題】		【開発課題への対応方針】		実施期間							支援額 (億円)	SDGs	備考	
	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	2021 年度 以前	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度					
開発課題1-6 その他	協カプログラム名 協カプログラム概要	案件名	スキーム	海上保安に係る制度・施設の整備及び機材供与に関する支援、また海上保安能力向上に資する研修及び専門家派遣を含む海上保安分野における能力向上プログラム	電子海図策定支援プロジェクト	開発計画	■	■	■	■	■	■	4.05	9,14	
				海上保安・海洋安全確保に関する研修及び専門家派遣を含む人材育成を通じた協力を行う。	海上保安・海洋安全確保分野の研修	課題別研修他	■	■	■	■	■	■		14,16	
				公共投資	個別専門家	■	■	■	■	■	■		9,11		
				ガバナンス・財政債務管理能力強化関連の研修	課題別研修他	■	■	■	■	■	■		8,9		
				巧職対策能力向上計画(UNDP連携)	無償	■	■	■	■	■	■	1.89	10,16		
				太平洋島嶼国議会能力向上計画(UNDP連携)	無償	■	■	■	■	■	■	5.65	17	複数国対象案件のため累計額を記載	
不発弾処理分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	無償	■	■	■	■	■	■	0.85	11,16						
SDGsグローバルリーダー	国別研修	■	■	■	■	■	■		8,11,17	教育分野から移動					
重点分野2 (中目標)	環境・気候変動・防災														
開発課題2-1 気候変動対策	【現状と課題】		【開発課題への対応方針】		実施期間							支援額 (億円)	SDGs	備考	
	大洋州の島嶼国として常にサイクロン、洪水等の自然災害のリスクに晒されている。災害リスク軽減を可能とする組織体制の強化、地域住民が主体となって取り組む災害管理能力の向上、意識向上が課題である。		国家災害管理計画に沿って管理能力の向上に資する機材整備、人材育成、住民参加型の災害リスク管理・防災活動の普及等の支援を行う。なお、他ドナーとの重複を避け、協調連携して効果的な支援を行う。		2021 年度 以前	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度					
	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム											
	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	防災・気候変動分野の研修	課題別研修他	■	■	■	■	■	■		11,13	
					経済社会開発計画	無償	■	■	■	■	■	■	4.00	7,8	防災・気候変動分野
					気候変動に対する強靱性向上のための大洋州人材能力向上プロジェクト(広域)	技プロ	■	■	■	■	■	■	2.05	7,11,13,17	複数国対象案件のため累計額を記載
第三国研修 - フィジー気象局による大洋州における持続的な気象サービスの能力強化					第三国研修	■	■	■	■	■	■		11,13		
太平洋の気候変動に対する強靱性向上のための革新的解決策の活用に関する能力向上プロジェクト					技プロ	■	■	■	■	■	■		7,11,13,17		
大洋州地域ハイブリッド発電システム導入プロジェクト					技プロ	■	■	■	■	■	■	13.52	7,13	複数国対象案件のため累計額を記載	
防災分野のJICA海外協力隊派遣	JOCV	■	■	■	■	■	■		7,11,13						
太平洋地域で唯一の危機遺産産業レンネルにおける災害対応力強化に向けた地元先住民コミュニティ支援	マルチ	■	■	■	■	■	■	0.3百万USD	1,2,12,13,14	国際連合教育科学文化機関(UNESCO)					
開発課題2-2 環境保全	【現状と課題】		【開発課題への対応方針】		実施期間							支援額 (億円)	SDGs	備考	
	首都や地方都市における廃棄物が急増しており廃棄物の処理問題が年々深刻化している。同国政府は2017年に国家廃棄物管理・公害抑制戦略を策定したが、財政不足等により対策は十分に進んでおらず、現状に即した法整備、廃棄物管理能力の向上、住民意識の向上が課題となっている。		住民意識の向上のための環境教育の推進を支援するとともに、大洋州の広域技術協力を通じて、廃棄物管理能力向上を支援する。		2021 年度 以前	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度					
	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム											
	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	大洋州地域廃棄物管理能力改善支援プロジェクト(フェーズ2)	技プロ	■	■	■	■	■	■	17.64	11	複数国対象案件のため累計額を記載
					大洋州地域廃棄物管理能力改善支援プロジェクト(フェーズ3)	技プロ	■	■	■	■	■	■		11,12,14	
					持続可能な地域づくりに向けた官民協働による環境学習推進プロジェクト	草の根技協	■	■	■	■	■	■		4,12	
環境分野のJICA海外協力隊派遣					JOCV	■	■	■	■	■	■		4,12		
環境・廃棄物管理分野の研修					課題別研修他	■	■	■	■	■	■		12,13		
島嶼における循環型社会形成支援プログラム					ゴミ減量化への取組として、啓発意識向上を支援する。ゴミ収集・処分場整備等の廃棄物管理能力の改善、及び関連法整備等の行政能力強化を支援する。										

凡例) 「協手」(=全ての協力準備調査)、「詳細設計」(=詳細設計)、「基礎情報調査」(=基礎情報収集・確認調査)、「技プロ」(=技術協力プロジェクト)、「開発計画」(=開発計画調査型技術協力)、「個別専門家」(=個別専門家)、「個別研修」(=課題別研修及び青年研修)、「JOCV」(=JICA海外協力隊)、「第三国研修」(=第三国研修)、「現地国内研修」(=科学技術協力(技プロ型及び個別専門家型))、「草の根技協」(=草の根技術協力)、「OC客技協」(=外資者・JICA以外の客行及び独立行政法人等が実施している技術協力)、「民間提案型技協」(=開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業)、「SDGs調査」(=途上国の課題解決型ビジネス(SDGsビジネス)調査)、「無償」(=以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協力)、「水産無償」(=水産無償資金協力)、「食糧援助」(=食糧援助)、「一般文化」(=一般文化無償資金協力)、「草の根文化」(=草の根文化無償資金協力)、「緊急無償」(=緊急無償資金協力)、「日本NGO」(=日本NGO連携無償資金協力)、「草の根無償」(=草の根・人間の安全保障無償資金協力)、「有償」(=円借款、海外投資資金)、「情報収集調査」(=基礎情報収集・確認調査)、「マルチ」(=国際機関等を通じた多国間協力スキーム)、「基礎調査」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業「基礎調査」)、「実地化調査」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業「実地化調査」)、「普及・実証・ビジネス化事業」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業「普及・実証・ビジネス化事業」)、「実施予定期間」 ※この凡例にない略語を使用する場合は凡例に当該略語を記載したうえで使用する。
【SDGsゴールの説明】1「貧困」、2「飢餓」、3「保健」、4「教育」、5「ジェンダー」、6「水・衛生」、7「エネルギー」、8「経済成長と雇用」、9「インフラ、産業化、イノベーション」、10「不平等」、11「持続可能な都市」、12「持続可能な消費と生産」、13「気候変動」14「海洋資源」、15「陸上資源」、16「平和」、17「実施手段」
【SDGsの詳細】https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/SDGs_pamphlet.pdf